

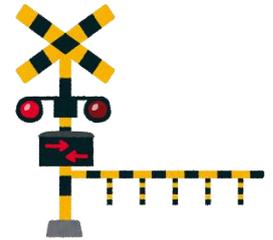
生徒指導通信

新潟県立三条東高等学校
生徒指導部
令和2年12月25日 No.8

○冬の登下校の交通マナー再確認!!!

4年前の今月12月、本校1年生男子生徒の尊い命が失われてしまいました。

当時、その日は球技大会の1日目で天候もよく晴れており、雪もなく路面も乾いていました。2学期期末考査終了後ということ、またクリスマスや年末を前にして、全校生徒を含め、やや浮き足だった全体の雰囲気だったように思われます。亡くなった生徒は登校するため、本校付近の冬期間には遮断機が外された（現在は外されない）信越線の踏切を横断しようと、上り線の通過を待ってから横断するつもりで、乗ってきていた自転車から降りて待っていました。やがて電車は通過し、その生徒も横断しようとしたその直後、下り線が通過することとなり、その電車にはねられ、数十メートル飛ばされるという状況になりました。その生徒は病院へ救急搬送されたものの、心肺停止の状況であり、その後容態が悪化し亡くなってしまいました。



当時を振り返ると、降雪対策のため冬期間は遮断機が外されていたこと、JR信越線が単線ではなく複線だったため上りの後に下りの電車がタイミング悪く来てしまったこと、また、木の枝葉があったためにやや電車の見通しも悪かったという悪い状況が重なっていましたが、上り線が通過後も踏切の警報音は鳴り続けていた状況だったところを、先を急ぐように横断しようとしてしまった行動が本当に悔やまれます。



交通マナーに関しては特に冬期間は注意が必要です。天候が変わりやすく、路面の状況も悪くなる、曇天であることや昼間の短さから見通しも悪くなることによって歩行者、自転車、自動車等の通行が難しい条件になります。交通マナーの遵守は当たり前ですが、それ以上の細心の注意が必要です。そのためにも登下校を含め、普段の行動から余裕を持って行動し、慌てた行動から尊い命が失われることの決してないようにしましょう。

○身だしなみ（繰り返しの確認）

本格的な冬を迎え、服装も寒さ対策を考えながら、学校生活を送っていることと思います。

さて、毎回の身だしなみの確認で心苦しさを感じているところですが、最近見られる身だしなみについて、繰り返し確認が必要だと考え、改めて掲載します。3学期の始業式でも服装指導を行う予定ですが、その際指導を受ける必要がないよう、普段の学校生活においても正しい身だしなみで生活しましょう。



①校章バッジを付ける（男子は左襟、女子は左胸ポケットの上）

※校内で過ごす際、気温が高く上着を脱ぐ場合はYシャツ・ブラウスにバッジがついていること。

②上着の下にはYシャツ・ブラウスを着用し、上着のボタンは全てとめること。

※最近、男子の学生服の下にYシャツを着用していない状況が見られます。

③セーター・カーディガン等の着用は上着の裾、袖口から出ないように着る。（色は濃紺、黒系とする）

※セーター等で丸首のものは襟からはみ出すので着用しないようにする。（上着から見えない様に）

④男子のズボンはウエストの位置を正しく、下げて着用しない。（腰骨の上でベルトを締める）

・女子のスカートはウエスト部分で折って、スカート丈を短くしない（目安：裾が膝頭にかかる）

⑤女子のブラウスは第一ボタンを締め、リボンのひもがゆるくならないように着用する。

※校内だけでなく、登下校を含む校外で制服を着用する場合についても、上記の通り正しく着用し、三条東高校としての品位を落とさないようにしましょう。

○規範意識＝生活の安心・安全という考え方

“規範意識”というと堅苦しく、窮屈なイメージがあるかもしれませんが、また、その必要性を考えたときに、規範意識とは道徳、倫理、法律等の社会ルールを守ろうとする意識のことであり、常にいかなる時・場所でも持たなければならないもので、自分或いは他の人、身の回りの人を守るものになります。例えば、他人に迷惑をかけないことによって、他人から嫌われることはない。自分を嫌いにならない。社会からはみ出さないということでもあります。

規範意識をしっかりと持たないと、交通ルール・マナーが守れない、他人の物を盗む(人の目を盗む)、他人(自分)を傷つける(いじめを含む)、身だしなみや服装を崩す、他人の悪口を言う、SNSで噂話をする等ということになり、その結果、罪に問われる、罪悪感にさいなまれる、自分を嫌いになる、他人からも嫌われてしまいます。

では、なぜこの“規範意識”を持てなかったり、忘れてしまうことがあるのかというと、誰も見ていないから、他の人にはわからないだろうと思う場面があると起こりやすくなります。

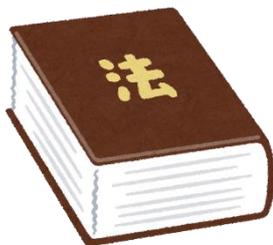
さて、本校の野球部のグラウンドには「野球の神様が見ている」と書いてあります。「誰からも見られていないから」ということではなく、「神様が見ている」という考え方。また、「神様」でなくても自分自身が見ている(知っている)と考えたら「神様」や「自分」を裏切る行為はできないのではないのでしょうか？

また、その昔、日本にはこんな話が実際にあったそうです。

江戸から伊勢まで「お伊勢参り」が盛んに行われた際、体が不自由、或いは高齢でという理由から自分自身では実際に行くことができなかつた時に、自分の代わりに飼い犬にお金を持たせ、「伊勢参り」に行かせ、無事に伊勢神宮のお札を持って、元の自分の家に帰って戻ることが出来たという例がいくつもあったそうです。当然、飼い犬が言葉を話すわけでもなく、お金を払ったり、地図を読んで元の家にとどくことはできません。

このことから考えると、その当時の日本はとても治安が良く、他の人の物を勝手に盗んだりすることなく、逆に見知らぬ人だとしても、その人の思いや存在を大切にしようとする人たちであふれていたのだと思われまふ。また、人に迷惑をかけたり、人の物を誰も見ていないからといって自分の物にしてしまうことを、「恥ずかしい」「さかしい」と思う感覚の人が大多数だったのだと思われまふ。

では、昔の古き良き日本人の感覚の人たちから見て、今の私たちはどのように目に映るのでしょうか？



法律や規則、ルールやきまりには文章になっていたり、しっかりと明記されたものもありますが、どこかで決められていないから、どこかに明文化されていないから大丈夫だという考え方には規範意識が存在しているのでしょうか？

ルールやきまりを守らないことで罰せられるから守るのではなく、それを守ろうとする意識を持って生活することで、私たちの生活の安心安全が守られ、気持ちよく生活することができるようになると理解しましょう。

○ハッピーレシピ (ある場所の掲示物から)



- ・毎日笑顔で過ごす
- ・周りの人に優しくする
- ・礼儀正しくする
- ・自分の部屋や身の周りを掃除する
- ・心の中で「ありがとう」と思う
- ・まわりのことを穏やかな気持ちで眺める
- ・日々のどうでもいいことにイライラしない
- ・人の悪口を言わない
- ・自分の心がウキウキワクワク感じることを考える
- ・そのとき目の前にあることを一生懸命する
- ・憂鬱になること嫌な気分になることは考えない
- ・本当になってほしくないことは口に出さない
- ・心配しない
- ・テレビ(スマホ)に時間を盗まれない
- ・自然の中で楽しむ
- ・プラス思考で明るく過ごす
- ・恵まれていることに気づいて感謝する

当たり前のことのようにですが参考までに…

新潟県立三条東高等学校 生徒指導部 係：坂爪

TEL 0256(38)6461



学校ホームページ QR コード

以前の生徒指導通信も掲載されています

スマホ18の約束



1. このスマホは私が買いました。あなたに貸しているものです。
2. パスワードは必ず私に教えること。
3. これは『電話』です。鳴ったら出ること。私やお父さんからの電話には必ず出ること。
4. 学校のある日は午後 7 時半に、週末は午後 9 時に私に返却すること。次の朝まで OFF にします。友人の親が直接出る家の固定電話に電話することができないような相手とは、メールも電話もしないこと。自分の直感を信じて、他の家族も尊重すること。
5. 学校に持って行ってはいけません。メールをする友人とは直接話をする。メールより顔を見て声を聞くこと。持って行くことが許された時はルールに従うこと。
6. 壊してしまったら、修理費用はあなたの負担です。お手伝いをしたり、お年玉やお小遣いでやりくりしてください。アクシデントはいつおこるか分からないから準備しておくこと。
7. このスマホを使って嘘をついたり、人をバカにしたり、傷つけたりするようなネットの会話に参加しないこと。
8. 人に面と向かって言えないことは、SNS やメールでしないこと。
9. 友達の親の前で言えないことは、SNS やメールでしないこと。
10. ポルノ禁止。私と一緒に楽しめる情報を共有しましょう。何か分からないことは私やお父さんに尋ねてください。
11. 公共の場ではマナーモードか電源 OFF に。ルールを守ること。
12. 大事な部分や恥ずかしいポーズの写真を友人やネット上の知らない人とやり取りしないこと。一度ネットに載せた写真は消えません。巨大なネットの力から自分を守りましょう。人生を台無しにしないために・・・。
13. 写真や動画すべてを記録する必要はありません。リアルタイムに心と五感で感じることを大切にしてください。その記憶のほうが『素晴らしい』のです。
14. スマホを持たない日や時間をつくりましょう。そのことに不安を持たないこと。スマホに依存し、振り回されない堂々とした生き方をするために大切なことです。
15. 良い音楽をダウンロードして聴いてください。せっかくの高機能なのだから活用し視野を広げてください。
16. とときどき、昔ながらのゲーム（ワードゲーム、パズル、知能ゲーム等）で遊びましょう。
17. あなたの周りの世界を見ましょう。人と話し笑いましょう。なんでも『ネット検索』しないで自分で考えましょう。そう・・・『上を向いて歩こう！』
18. 私との約束を守れなかった時は、このスマホをあなたから没収します。そして一度、話し合いやり直しましょう。あなたと私はチームメイトです。何かを学びながら一緒に考えて歩みましょう。『いつもそばにいるからね』

これがスマホをあなたに買い与え、私が貸すときの『18の約束』です。合意してくれること、そして守ってくれることを願っています。この『18の約束』はほとんど、人生をより良く生きるための知恵でもあります。スマホを持つことは12歳のあなたにとってもドキドキする楽しいことです。でも、自分をしっかり持って振り回されないで欲しい。

どんな高性能の機械よりも、自分のパワーと大きな心を信じてください。

あなたが大好き。何より大切に思っています。あなたとたくさんのメッセージをやり取りするのが楽しみです！！

お母さんより

上記の文章はクリスマスにアメリカ マサチューセッツ州に住むお母さんが13歳の息子にiPhoneをクリスマスプレゼントとしてあげました。iPhoneの箱にはお母さんが作った使用契約書が入っており、その内容は全世界で話題になりました。日本でも多くの自治体（教育委員会）で情報モラル指導の資料としてあげられています。ルールづくり・確認の参考にしてください。